

平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況(連結) 平成 16 年 7 月 29 日

上場会社名 **株式会社 JALUX** (ジャルックス) コード番号 2729 東証第 1 部
 (URL <http://www.jalux.com/>) 本社所在都道府県 東京都

代表者 役職名 代表取締役会長兼社長 氏名 横山 善太
 問合せ先責任者 役職名 経 理 部 長 氏名 芝崎 賢二 TEL (03) 5460 - 7230

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率を用いて計算しています。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期の財務・業績概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	19,957	16.9	311	-	344	-
16 年 3 月期第 1 四半期	17,068	-	52	-	8	-
(参考) 16 年 3 月期	86,089	-	2,081	-	1,914	-

	四半期 (当期) 純利益		1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 1 四半期	177	-	14	21	-	-
16 年 3 月期第 1 四半期	34	-	2	45	-	-
(参考) 16 年 3 月期	1,085	-	86	21	-	-

(注) 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

(参考) 四半期個別経営成績等の概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	18,315	16.2	183	-	214	393.1
16 年 3 月期第 1 四半期	15,765	9.2	88	-	43	32.5
(参考) 16 年 3 月期	78,449	-	1,360	-	1,601	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17 年 3 月期第 1 四半期	32,360	10,358	32.0	811	69
16 年 3 月期第 1 四半期	29,329	9,037	30.8	738	54
(参考) 16 年 3 月期	35,706	10,477	29.3	819	13

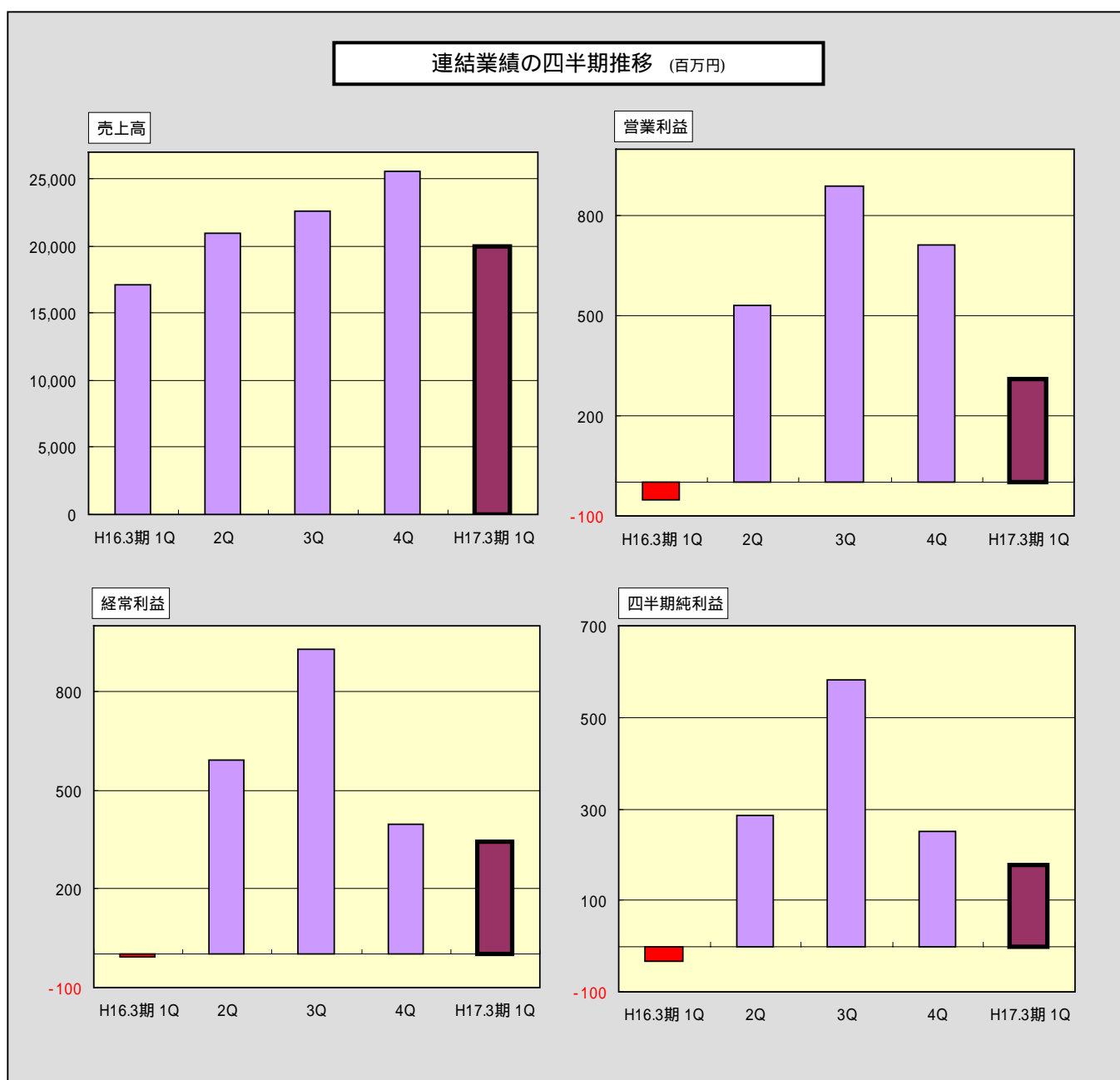
3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	47,900	1,220	575
通 期	102,000	2,570	1,200

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 94 円 03 銭
 平成 16 年 5 月 7 日に発表いたしました当初の業績予想と変更はありません。
 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要素により異なる結果となる可能性があります。

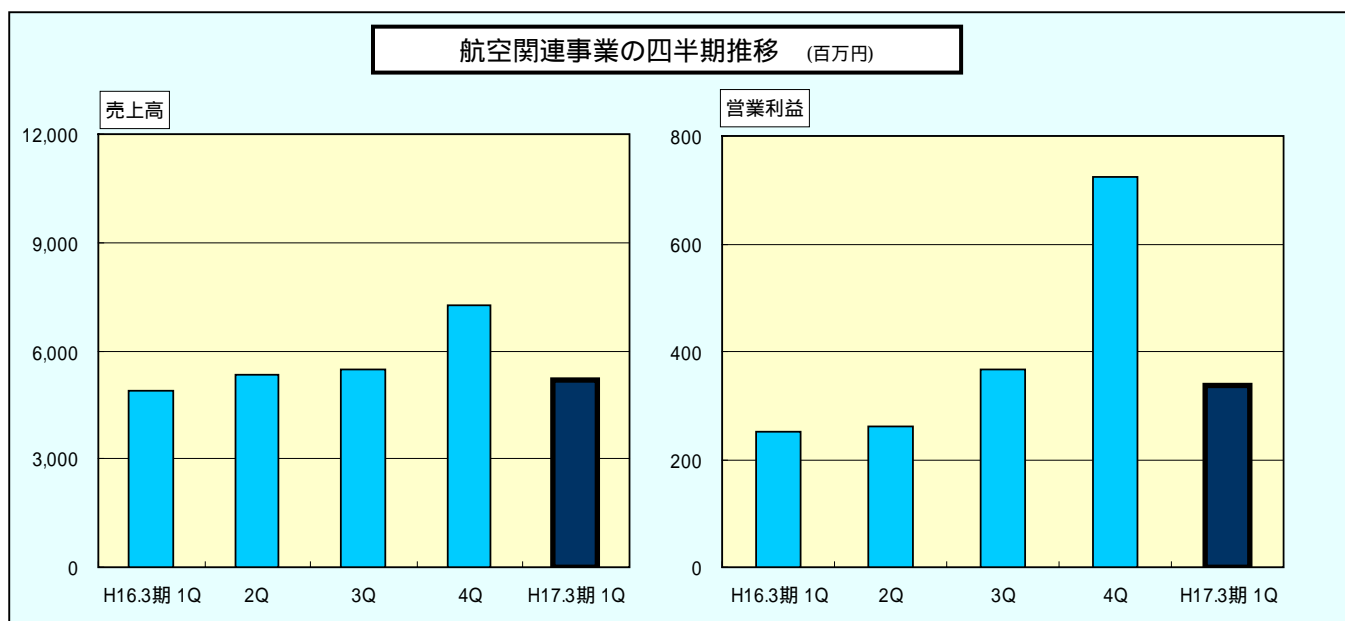
[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期（平成16年4月1日から同6月30日まで）の経営成績は、平成16年1月の(株)JAS（ジェイエイエス）トレーディングとの合併による影響及び国際旅客需要の回復に伴う増収により、総じて順調に推移し、連結売上高は19,957百万円と前年同期を上回りました（前年同期比116.9%）。特に、顧客サービス事業（空港店舗等）の大幅な増収に伴い売上総利益率が向上し、さらに、合併効果の最大化をはかるため、販売費及び一般管理費の効率化・増加抑制に努めた結果、営業利益は前年同期に対し大幅な改善となる311百万円（前年同期差+363百万円）、また、持分法投資利益などの営業外収益により、経常利益は344百万円（同+352百万円）となりました。これに特別損益（固定資産売却益等）及び法人税等を加減した当第1四半期純利益は177百万円（同+211百万円）となりました。

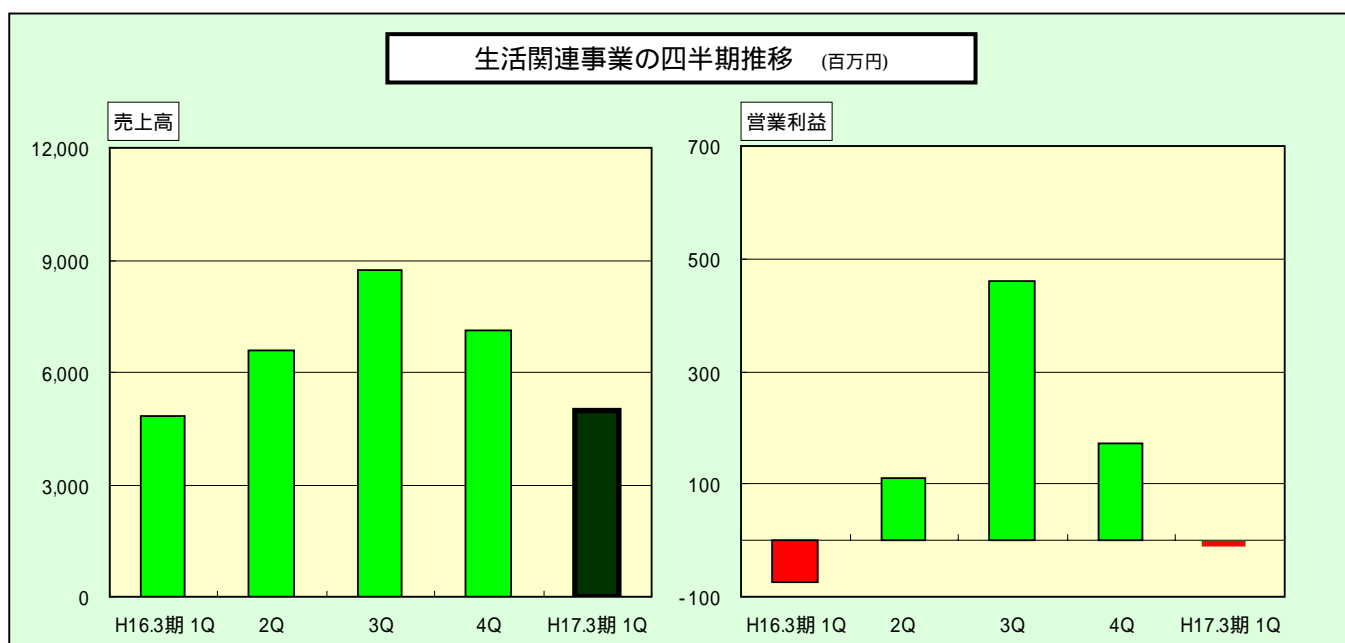


セグメント別の概況は以下の通りです。尚、各業績数値は、セグメント間売上高または振替高及び配賦不能営業費用を調整前の金額です。

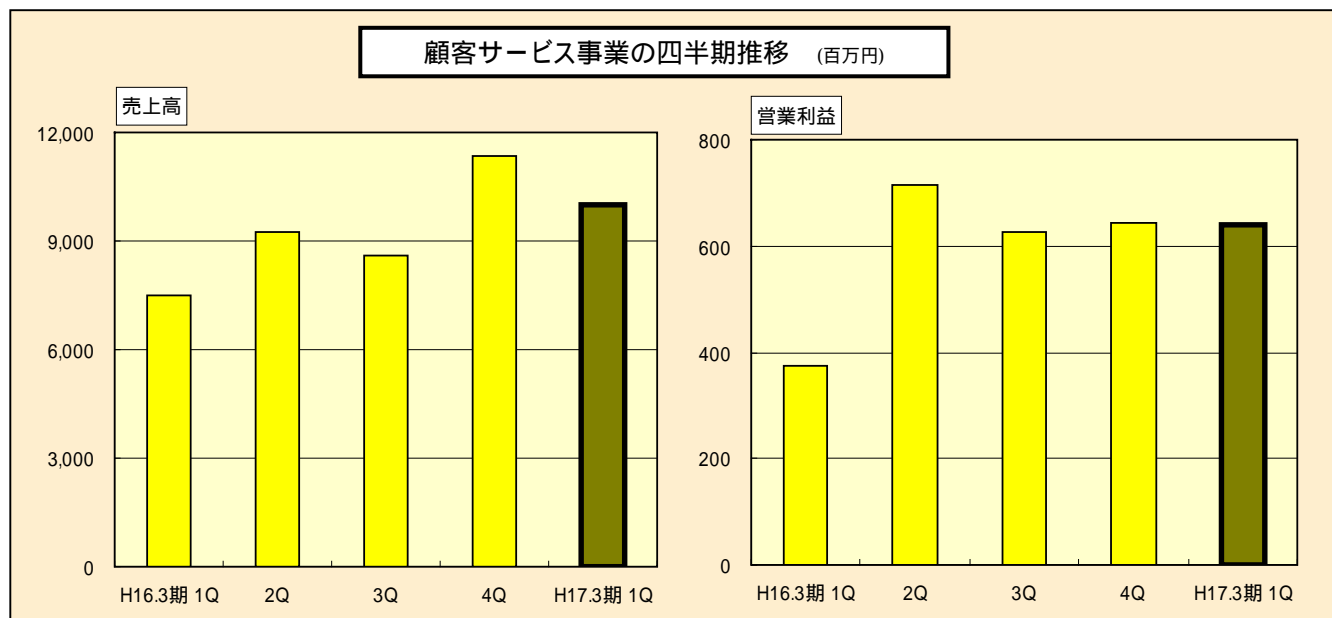
航空関連事業では、航空産業における需要増などにより航空機部品や空港用車両の販売が好調に推移するとともに、国際旅客需要の回復に伴い機内販売用免税品の販売においても増収となりました。また、合併に伴う制服類の取扱数の増加なども寄与し、売上高 5,184百万円(前年同期比106.5%)、営業利益 338百万円(同134.4%)となりました。



生活関連事業では、食品部門において、需要回復に伴い航空機内用食材の販売が好調に推移するとともに、冷凍水産物の輸入販売や、オリジナル食品「JAL SELECTION デスカイシリーズ」の販売などで増収となりました。また、通信販売においても、DMカタログ「JAL World Shopping Club」「グルメ・ファーストクラス」、WEBモール「JALショッピング」などで好調な業績をおさめ、売上高 4,990百万円(前年同期比102.9%)、営業損失は前年同期に対し74百万円改善し 162千円となりました。



顧客サービス事業では、店舗部門において、空港一般店舗「BLUE SKY」は合併に伴う店舗数拡大により大幅な増収、また、成田空港免税店「JAL-DFS」においても、国際旅客数の回復に伴い大幅な増収となりました。その他、メディア・ライフデザイン事業も順調に推移し、売上高 10,006百万円（前年同期比133.8%）、営業利益 639百万円（同171.0%）と、前年同期を大幅に上回りました。



以上の通り、業績は概ね予想どおり順調に推移しており、また、生活関連事業における食品・通販事業（贈答品、季節商品）や、顧客サービス事業における店舗事業などの収益の比重が夏季および冬季に高く、連結業績は第2～第4四半期に偏重する傾向にあるため（1ページ：四半期業績推移グラフご参照）、平成16年5月7日発表の、平成17年3月期業績予想（連結・個別）につきましては修正を行っておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末(平成16年6月30日)の総資産は、平成16年3月期末と比べ 3,345百万円減少し、32,360百万円（前期末比 90.6%）となりました。

これは、(株)JASトレーディングから引継いだ(株)日本航空ジャパンとの取引形態の変更（本年4月より売買方式から業務受委託方式に変更）及び前期末に発生した大口取引による債権を回収したことに伴い、売掛金及び買掛金が大幅に減少したことなどによるものです。

尚、株主資本は 10,358百万円となり、株主資本比率は 32.0%と、前期末と比べ 2.7ポイント向上いたしました。

(添付資料)

1. 四半期要約連結貸借対照表
2. 同 要約連結損益計算書
3. 同 事業の種類別セグメント情報

[添付資料]

1. 要約四半期連結貸借対照表

区分	当第1四半期 (平成16年6月30日)		前第1四半期 (平成15年6月30日)		対前年同期比 増減	前連結会計年度 (平成16年3月31日)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)						
流動資産						
現金及び預金	4,434,858		2,594,010			4,130,377
受取手形及び売掛金	9,063,337		8,609,727			12,042,887
たな卸資産	5,139,516		5,231,597			5,115,801
その他	2,252,228		2,143,333			2,814,195
貸倒引当金	34,221		26,935			34,876
流動資産合計	20,855,719	64.4	18,551,734	63.2	2,303,985	24,068,386
固定資産						
有形固定資産	4,515,987	14.0	4,461,806	15.2		4,648,623
無形固定資産	511,358	1.6	485,118	1.7		540,586
投資その他の資産						
投資有価証券	2,108,727		2,059,566			2,065,892
長期貸付金	1,379,639		1,078,203			1,395,753
長期差入保証金	2,325,414		2,053,411			2,357,550
その他	861,212		792,816			848,798
貸倒引当金	197,207		153,022			218,835
投資その他の資産合計	6,477,786	20.0	5,830,976	19.9		6,449,158
固定資産合計	11,505,132	35.6	10,777,901	36.8	727,231	11,638,368
繰延資産	-		237			-
繰延資産合計	-		237	0.0	237	-
資産合計	32,360,852	100.0	29,329,872	100.0	3,030,979	35,706,754
(負債の部)						
流動負債						
支払手形及び買掛金	9,193,556		7,985,600			12,312,416
短期借入金	4,592,723		2,949,740			3,267,786
一年以内償還社債	-		350,000			-
未払費用	1,730,812		1,301,221			2,407,207
その他	1,767,438		1,994,660			2,355,636
流動負債合計	17,284,529	53.4	14,581,221	49.7	2,703,307	20,343,046
固定負債						
長期借入金	3,422,045		4,592,440			3,618,824
退職給付引当金	242,900		125,394			212,202
その他	428,085		465,512			429,352
固定負債合計	4,093,031	12.7	5,183,347	17.7	1,090,315	4,260,379
負債合計	21,377,561	66.1	19,764,569	67.4	1,612,992	24,603,426
(少数株主持分)						
少数株主持分	624,913	1.9	528,042	1.8	96,870	626,225
(資本の部)						
資本金	2,558,550	7.9	2,558,550	8.7		2,558,550
資本剰余金	711,296	2.2	661,250	2.3		711,260
利益剰余金	7,350,522	22.7	5,906,311	20.1		7,448,233
その他有価証券評価差額金	8,053	0.0	11,034	0.0		8,053
為替換算調整勘定	262,642	0.8	72,936	0.3		242,130
自己株式	7,401	0.0	4,879	0.0		6,863
資本合計	10,358,378	32.0	9,037,260	30.8	1,321,117	10,477,102
負債、少数株主持分及び資本合計	32,360,852	100.0	29,329,872	100.0	3,030,979	35,706,754

2. 要約四半期連結損益計算書

区分	当第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)		前第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)		対前年同期比 増減	前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
売上高	19,957,444	100.0	17,068,008	100.0	2,889,436	86,089,991
売上原価	14,824,233	74.3	13,086,097	76.7	1,738,135	65,845,097
売上総利益	5,133,210	25.7	3,981,910	23.3	1,151,300	20,244,894
販売費及び一般管理費						
給料及び手当	1,914,400		1,668,687			6,919,150
退職給付費用	73,770		69,789			287,176
賃借料	1,083,617		796,024			3,757,545
減価償却費	86,103		85,921			351,087
役員退職慰労引当金繰入額	12,035		13,174			49,369
その他	1,651,746		1,400,656			6,799,202
営業利益	311,538	1.6	52,343	0.3	363,882	2,081,362
営業外収益						
受取配当金	2,135		28,388			55,320
持分法による投資利益	12,370		-			84,847
為替差益	8,320		9,778			-
その他	35,216		34,851			181,262
営業外費用						
支払利息	16,830		21,408			75,929
持分法による投資損失	-		4,387			-
為替差損	-		-			342,910
その他	8,507		2,936			69,472
経常利益	344,245	1.7	8,056	0.0	352,301	1,914,480
特別利益	88,031		-			429,318
特別損失	14,668		12			110,734
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	417,608	2.1	8,069	0.0	425,677	2,233,064
法人税、住民税及び事業税	204,621	1.0	18,477	0.1		1,041,244
少数株主利益(控除)	35,695	0.2	7,775	0.1	27,919	106,409
第1四半期(当期)純利益	177,290	0.9	34,322	0.2	211,613	1,085,411

3. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
.売上高及び営業損益 売上高						
1. 外部顧客に対する売上高	4,980,326	4,970,578	10,006,538	19,957,444	-	19,957,444
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	203,903	19,884	-	223,788	(223,788)	-
計	5,184,230	4,990,463	10,006,538	20,181,232	(223,788)	19,957,444
営業費用	4,845,254	4,990,625	9,366,683	19,202,563	443,341	19,645,905
営業利益(又は営業損失)	338,975	(162)	639,855	978,668	(667,129)	311,538

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

- (1) 航空関連事業 航空機、航空機部品、航空機材、航空機備品、客室装着品、機内サービス品、機内免税品、乗務員制服及びクリーニング、産業機材
- (2) 生活関連事業 食品、酒類、雑貨、宝飾、生活用品、通信販売(e-コマース含む)
- (3) 顧客サービス事業..... 空港売店・空港内喫茶運営、保険取扱及びライフコンサルタント、印刷並にメディア用品、建物及び附属施設等の施設管理、清掃、保守、警備、不動産売買、賃貸、仲介及び土地有効活用を含むライフデザイン設計提案

3. 当第1四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は666,305千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

前第1四半期 (自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
.売上高及び営業損益 売上高						
1. 外部顧客に対する売上高	4,750,408	4,840,268	7,477,330	17,068,008	-	17,068,008
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,105	11,652	-	127,757	(127,757)	-
計	4,866,513	4,851,921	7,477,330	17,195,765	(127,757)	17,068,008
営業費用	4,614,275	4,926,933	7,103,253	16,644,461	475,889	17,120,351
営業利益(又は営業損失)	252,238	(75,011)	374,077	551,304	(603,647)	(52,343)

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

- (1) 航空関連事業 航空機、航空機部品、航空機材、航空機備品、客室装着品、機内サービス品、機内免税品、乗務員制服及びクリーニング、産業機材
- (2) 生活関連事業 食品、酒類、雑貨、宝飾、生活用品、通信販売(e-コマース含む)
- (3) 顧客サービス事業..... 空港売店・空港内喫茶運営、保険取扱及びライフコンサルタント、印刷並にメディア用品、建物及び附属施設等の施設管理、清掃、保守、警備、不動産売買、賃貸、仲介及び土地有効活用を含むライフデザイン設計提案

3. 当第1四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は604,576千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。